

体育祭で響く歓声と一体感

特製ひつまみが、生徒の笑顔を引き立たせる

本校の体育祭が6月24、25の両日開かれました。生徒は借り物&パン食い競争、粉アメ&袋飛び競争など、みんなが盛り上がる運動系種目のほか、新種目の「eスポーツ」も加えた総計13種目に取り組み、校庭や体育館に元気な歓声を響かせました。

また、2日目の25日には体育祭名物の「ひつまみ汁」が全校生徒に振る舞われました。ひつまみ汁は、前日の準備も含め、延べ26人のPTA有志「ひつまみレンジャー」の皆さまが、愛情を込めて手作りしてくださったものです。昼食時には、持参したお弁当と一緒に、



競技に全力で取り組み、昼食を取る生徒たち。ひつまみ汁が、より美味しく感じられます

美味しそうにひつまみ汁を頬張る笑顔がたくさん見られ、生徒にとって心とお腹が満たされる、思い出深い2日間となりました。

※コンピューターゲームをスポーツ競技として捉えた呼び方



体育祭1日目の学年対抗リレーでは、先輩・後輩が互いを打ち負かそうと、本気の勝負を繰り広げた

すくすく育て「ムラサキ」の苗600本を植栽

6月24日、「ムラサキプロジェクト」の一環で、1年生が、20センチメートルに成長したムラサキの苗600本を、セミナーハウス紫薫館の裏山とは場に植栽しました。

紫薫館裏の土地は雑草が生い茂り、そのままでは植栽できない状態でしたが、地域ボランティアの方に小型耕運機で事前に耕していただきました。本当にありがとうございました。

ここで育てたムラサキは秋に収穫され、紫根染の原料や紫薫枕の材料となります。無事に成長してほしいと願っています。



成長したムラサキを誘引するため
の棒を、苗の脇に差し込む生徒



雑草予防などの効果があるマルチに
穴を開け、ていねいに植え進めます

平高LIFE

平高入学の理由・当初の目標



学校行事やボランティア活動に積極的に取り組んでいます

かいもり ともや
貝森 朋也 さん

普通科2年 西根一中出身

市内唯一の高校で、自宅から近く、自分の時間を有効に使えると思ったからです。また、絶滅危惧種であるムラサキの育成・保護に取り組んでいるので、その活動に携わり、貢献したいと考えたからです。

平高で頑張っていること

勉強はもちろん、学校行事にも積極的に取り組んでいます。高校でしかできない経験を大切にしながら、最高の思い出を作りたいと思っています。文化祭では仲間と協力して展示物を製作し、体育祭ではチームのために全力で競技

将来は市内で就職したいと考えています。生活に欠かさない食品関係の仕事や、人と接することが好きなので接客業にも興味があります。仕事を通して八幡平市に貢献したいと思っています。

平高推しポイント(魅力)

総合的な探究の時間の授業や、希少なムラサキに関する活動を通して、八幡平市の歴史や文化、産業について深く学ぶことができます。さらに、全校生徒が少ないため、先生が一人一人に寄り添っていていねいに教えてくださるので、分からないところも理解できるようになります。

将来の夢・進路

に取り組み、協調性が身についてきていると感じています。



体育祭のパン食い競争で、大声援を背に、積極的に競技に取り組む朋也さん